

阿波座駅(地下鉄千日前線・中央線)④

阿波座から安治川沿いを散策

西九条駅(JR環状線ほか各線・阪神なんば線)

「大阪あそ歩マップ集」
その1 No.017

地下鉄阿波座駅

①津波高潮ステーション

大阪府西大阪治水事務所が所轄しています。防潮堤水門など津波・高潮の防御施設を一元管理する防災棟と府民へ防災意識を訴える展示棟があります。

②日本聖公会川口基督教会

明治2年(1869)に長崎からやってきた米国聖公会宣教師ウィリアムス主教が英学講義所を開校して、英語による礼拝を始めました。明治14年(1881)教会が設立され、大正9年(1920)に現在の礼拝堂が建設されました。ゴシック風の重厚なデザインが居留地時代の雰囲気を残しています。

③大阪開港の地・運上所跡

慶応4年(1868)、外航船の貿易取締、関税徴収、外交事務を担当する運上所が開港諸都市に置かれました。大阪の運上所では五代友厚が外国館判事としてその任にあたっていました。隣接して川口波止場が建設され、大阪港がここで開港しました。続いて明治3年(1870)には川口電信局が開設され、日本で最初の電信線が神戸まで架設されました。



④外国人雑居地跡・富島天主堂跡

このあたりは居留地とは別に公

認された外国人の雑居地で、おもに中国人が住んでいました。ここにフランス人が建てたカトリックの礼拝堂がありました。

⑤太閤さんの残念石

大阪城を築城する際、石垣に使用するために切り出された石が何らかの事情で役目を果たせなかったものを残念石と呼んでいます。ここでは、運搬中に古川に落ちた巨石を引き上げて倉庫の壁の一部に使用しています。

⑥河村瑞賢紀功碑

九条島はしばしば淀川の氾濫に苦しめられました。貞享元年(16



84) 河村瑞賢は幕府の命により九条島の治水工事に着手し、淀川を大坂湾へまっすぐ流し込む水路を開削しました。初め新川と呼ばれていましたが、安く治まる川として安治川という名がつけられました。安治川が開通して大坂湾より市中へ船の出入りが容易になり、大坂は天下の台所として大いに繁栄しました。紀功碑は川に落ちた残念石を使っています。

⑦古川跡

安治川開削の前に流れていた川が古川で、終戦後、防潮堤工事のために埋め立てられました。

⑧安治川トンネル

かつて源兵衛渡しと呼ばれる渡し船が兩岸を結んでいました。大型船航行の障害になるため架橋ができず、昭和19年(1944)にトンネルが掘られました。完成当時は大型トラックの通行も可能でしたが、いまは人と自転車のみです。

JR・阪神西九条駅

